

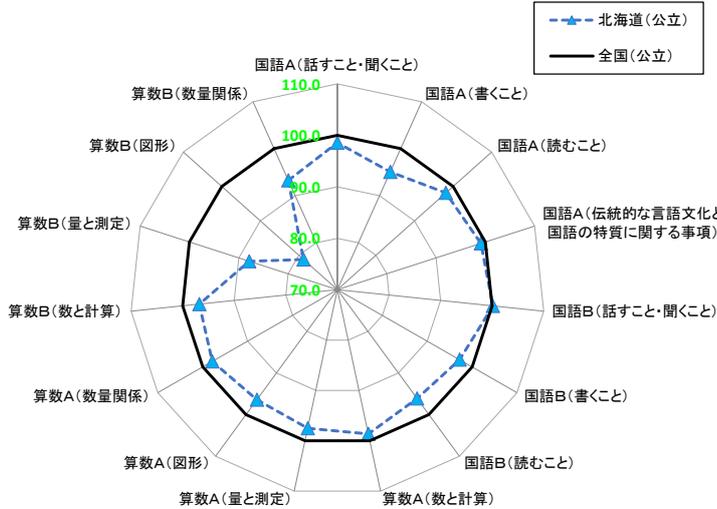
■積丹町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:6人)

※児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、積丹町の教科のデータは掲載していない。

【教科全体の状況】

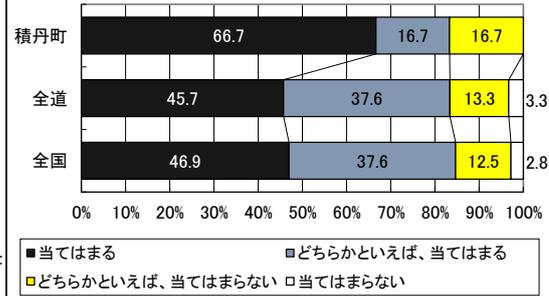
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

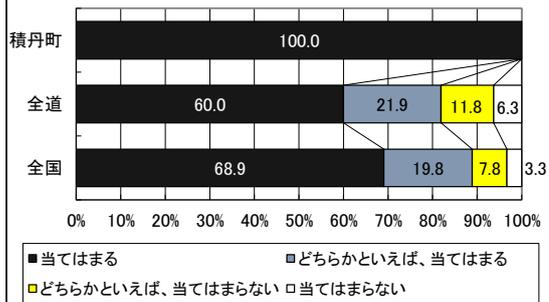


【児童質問紙調査】

授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた

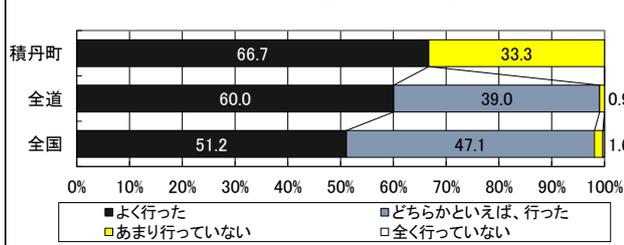


授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた

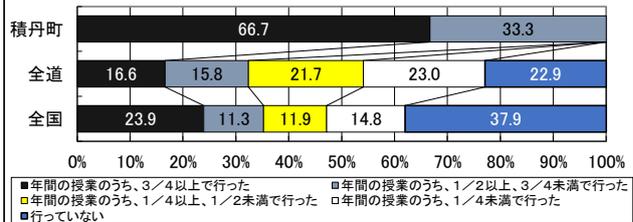


【学校質問紙調査】

発言や活動の時間を確保して授業を進めた



算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした



【分析】

| 教科 | ※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、積丹町の教科のデータは掲載していない。 |
|-------|--|
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「発言や活動の時間を確保して授業を進めた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を年間の授業のうち、3/4以上行い、習得できるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 |

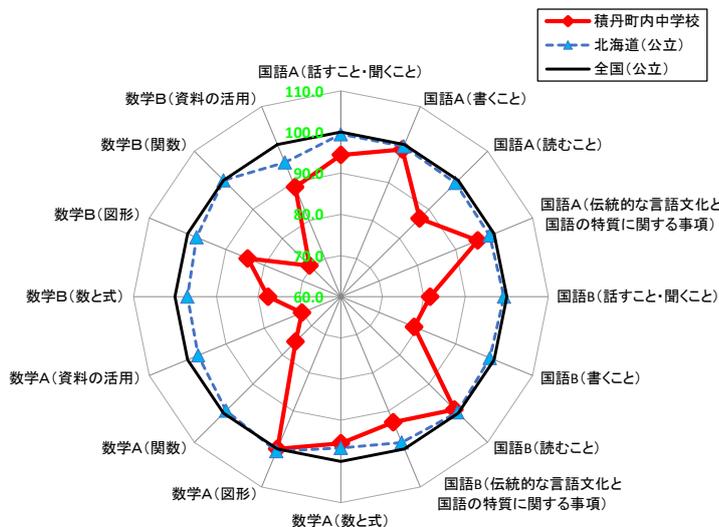
【積丹町の学力向上策】

- ◎ 家庭学習の習慣化を図る取組や補充的な学習の実施
- ◎ T・Tや少人数指導など、きめ細かな指導の継続
- ◎ 校内研修及び参観日、地域への授業公開を通じた授業改善の推進

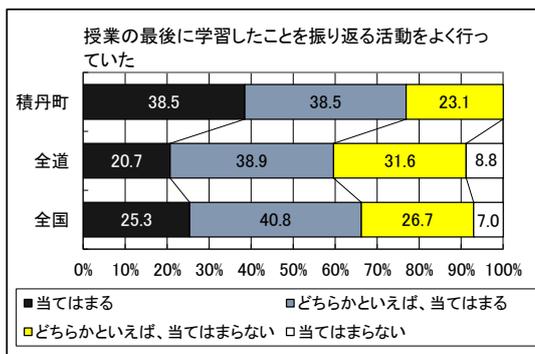
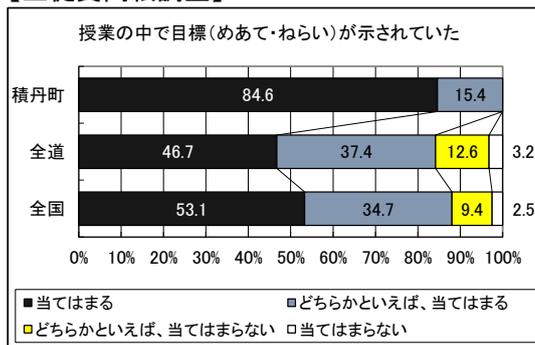
■積丹町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:13人)

【教科全体の状況】

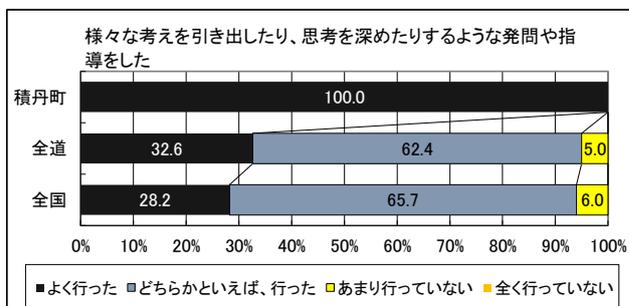
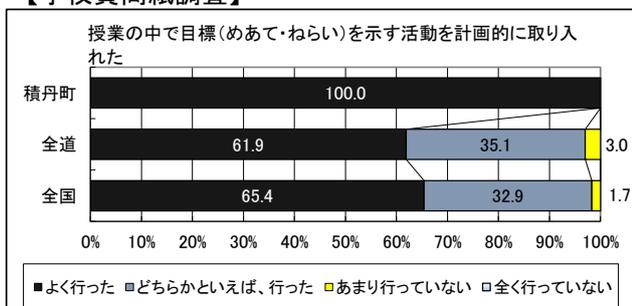
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」、Bでは、「読むこと」で、全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国と同じである。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示し、生徒に学習への見通しをもたせるとともに、授業の終わりに学習内容を振り返る活動を位置付けるなどの授業改善を行った結果、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着が図られるようになったと考えられる。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問を今後も行い、生徒の思考力・判断力・表現力を更に高めていく必要があると考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた。 ○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした。 | |

【積丹町の学力向上策】

- ◎ 家庭学習の習慣化を図る取組や補足的な学習の実施
- ◎ T・Tや少人数指導など、きめ細かな指導の継続
- ◎ 校内研修及び参観日、地域への授業公開を通じた授業改善の推進